北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	研究指導Ⅲ	科目コード	8116	単位数	2
担当者名	池ノ上　真一	開講時期	２後	開講年次	2年次

授業の到達目標及びテーマ

博士論文の完成度を高めると共に、研究成果の公表計画（学会での発表、学術雑誌への投稿など）を立案する。

授業の概要

「博士論文構想報告会」で得た知見に基づき、骨子・研究内容を再整理する。博士論文の執筆、データ解析を進めると共に、「研究会方式の討議」を通して、博士論文の完成度を高める。学会での発表、学術雑誌への投稿など、研究成果の公表計画を立案させる。

授業計画

1週目 「博士論文構想報告会」でこれまでの成果を発表し、担当教員、院生同士で討議する。「博士論文構想報告会」での討議を通して得られた知見に基づき、研究の骨子・研究内容を再整理する。
2週目 前週に引き続き、担当教員、院生同士で重ねて討議する。「博士論文構想報告会」での討議を通して得られた知見に基づき、研究の骨子・研究内容を再整理・検討する。
3週目 前週に引き続き、報告会での議論を踏まえ、新たな知見に基づき、研究の骨子・研究内容を再整理・検討する。
4週目 前週に引き続き、報告会での議論を踏まえ、新たな知見に基づき、研究の骨子・研究内容を再整理・検討する。
5週目 分析に必要なデータを収集し分析を進める。これと平行して、各章の執筆を進める。データの収集方法、文章表現に関する指導を行う。分析時のノウハウについては進行状況に即して適宜指導する。
6週目 前週に引き続き、分析に必要なデータを収集し分析を進める。これと平行して、各章の執筆を進める。データの収集方法、文章表現に関する指導を継続して行う。分析時の問題点・課題・ノウハウについては、進行状況に即して適宜指導する。
7週目 前週に引き続き、分析に必要なデータを収集し分析を進める。これと平行して、各章の執筆を進める。データの収集方法、文章表現に関する指導を引き続き行う。分析時の問題点・課題・ノウハウについては、進行状況に即して適宜指導する。
8週目 前週に引き続き、分析に必要なデータを収集し分析を進める。これと平行して、各章の執筆を進める。データの収集方法、文章表現に関する指導を継続して行う。分析時の問題点・課題・ノウハウについては、進行状況に即して適宜指導する。
9週目 前週に引き続き、分析に必要なデータを収集し分析を引き続き取進める。これと平行して、各章の執筆を引き続き進める。データの収集方法、文章表現に関する指導を引き続き行う。分析時の問題点・課題・ノウハウについては、進行状況に即して適宜指導する。
10週目 解析結果の検証を進める。必要であれば、研究関連地域（国）への研究交流等について指導する。指導教授、副指導教授に研究テーマに関連する教授を加えたメンバーに対し、これまでの成果を発表し討議する。この「研究会方式での討議」を繰り返し、博士論文執筆上の課題などを整理する。
11週目前週に引き続き、解析結果の検証を進める。必要であれば、研究関連地域（国）への研究交流等について指導する。指導教授、副指導教授に研究テーマに関連する教授を加えたメンバーに対し、これまでの成果を発表し討議する。この「研究会方式での討議」を繰り返し、博士論文執筆上の課題などを整理する。
12週目 前週に引き続き、解析結果の検証を重ねて実施する。必要であれば、研究関連地域（国）への研究交流等について引き続き指導する。指導教授、副指導教授に研究テーマに関連する教授を加えたメンバーに対し、これまでの成果を発表し、重ねて討議する。この「研究会方式での討議」を繰り返し、博士論文執筆上の課題などを整理・検討する。
13週目 前週に引き続き、解析結果の検証を重ねて実施する。必要であれば、研究関連地域（国）への研究交流等について引き続き指導する。指導教授、副指導教授に研究テーマに関連する教授を加えたメンバーに対し、これまでの成果を発表し、重ねて討議する。この「研究会方式での討議」を繰り返し、博士論文執筆上の課題などを整理・検討する。
14週目 「研究会方式での討議」に基づき不足部分などを整理する。学会発表、論文投稿に関する計画を立案する。学会発表・投稿準備に関する指導と共に、博士論文の一部分を投稿論文として完成させるための具体的な技術的指導を行う。
15週目 前週に引き続き、「研究会方式での討議」に基づき不足部分などを整理・検討する。学会発表、論文投稿に関する計画を立案するとともに、学会発表・投稿準備に関する指導と共に、博士論文の一部分を投稿論文として完成させるための具体的な技術的指導を引き続き行う。
16週目 前週に引き続き、これまでの討議に基づき不足部分などを整理・再検討する。学会発表、論文投稿に関する計画に基づき、学会発表・投稿準備に関する指導を継続して行う。加えて、博士論文の一部分を投稿論文として完成させるための具体的な技術的指導を継続して行う。

テキスト

授業開始時に指示する。研究テーマに即した参考資料をテキストとして適宜用いる。

参考書・参考資料等

研究テーマに即した参考資料をテキストとして適宜用いる。 参考書・参考資料等研究テーマに即した参考資料を適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準は、研究会報告での発表や指導過程での成果に基づいて総合的に判断する。

更新日付

2026/01/30 01:42